

**気象災害から命を守るために
気象警報が生まれ変わります**

気象庁では、平成29年出水期から、気象警報の改善を予定しています。

大雨・洪水警報が発表されたときに、どこで実際に危険度が高まっているのかを地図上に色分け表示します。例えば、「洪水警報の危険度分布」では、中小河川の急激な増水による危険度の高まりも実際に水位が上昇するより前の早い段階から確認できるようになります。

これらの改善した情報は、7月中に気象庁ホームページでご覧いただけるようになります。いつ・どこで災害発生の危険度が高まると予想されているのかをご確認いただき早めの安全確保行動を心がけてください。

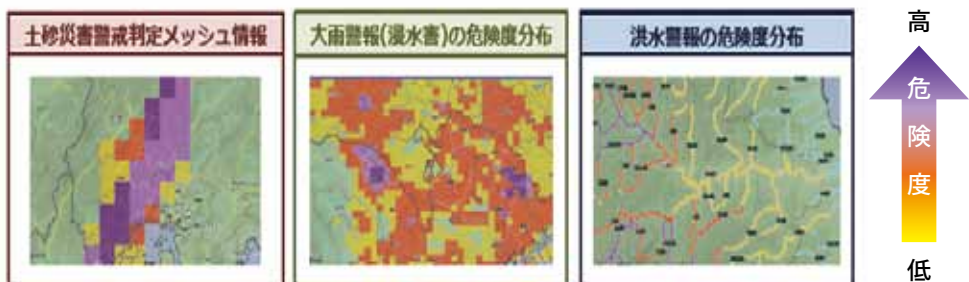
■問い合わせ

下関地方気象台

☎083(234)4007

気象庁ホームページURL

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>



危険度分布では、土砂災害、浸水害、洪水害の危険度がどこで高まっているかを地図上に色分けして表示します。

このコーナーはPDF版では掲載しておりません。

周防大島町ホームページ

<http://www.town.suo-oshima.lg.jp>

Eメール

seisakukikaku@town.suo-oshima.lg.jp

発行◆山口県周防大島町

編集◆政策企画課(周防大島町大字小松126-2)

☎0820(74)1007

印刷◆中村印刷株式会社 ※広報すおう大島は再生紙を使用しています。